



2・3学年 第1回進路志望調査結果

3学年の進路志望（前回 2年第2回との比較）

区分	今回		前回（2年第2回）	
	人数	(%)	人数	(%)
国立大	21人	(11.4%)	27人	(14.4%)
公立大	43人	(23.4%)	41人	(21.8%)
私立大	44人	(23.9%)	46人	(24.5%)
国公立短大	0人	(0.0%)	0人	(0.0%)
私立短大	17人	(9.2%)	14人	(7.4%)
専修学校等	25人	(13.6%)	26人	(13.8%)
就職	31人	(16.8%)	33人	(17.6%)
未定	3人	(1.6%)	1人	(0.5%)
合計	184人		188人	

2学年の進路志望（前回 1年第2回との比較）

区分	今回		前回（1年第2回）	
	人数	(%)	人数	(%)
国立大	26人	(13.8%)	27人	(14.1%)
公立大	38人	(20.1%)	51人	(26.6%)
私立大	39人	(20.6%)	27人	(14.1%)
国公立短大	1人	(0.5%)	2人	(1.0%)
私立短大	7人	(3.7%)	9人	(4.7%)
専修学校等	30人	(15.9%)	28人	(14.6%)
就職	48人	(25.4%)	46人	(24.0%)
未定	0人	(0.0%)	2人	(1.0%)
合計	189人		192人	

4月に実施した、進路志望調査の結果をお知らせします。

まずは3年生の結果です。国公立大学志望者は64名（全体の34.8%）です。そのうち、青森県内の国公立大学の志望者は、弘前大学20名、青森県立保健大学24名、青森公立大学9名と、この3校の志望者が国公立大学全体の志望者の8割以上を占めており、地元志向が強いと言えます。また、私立大志望者44名の中でも、青森中央学院大学7名、青森大学3名、弘前学院大学2名、弘前医療福祉大学2名、八戸学院大学2名、八戸工業大学1名とこれも地元志向が強い結果となっております。

進学志望者は学びたいことについて視野を広げ、学ぶ意欲について自己PRできるだけの材料を整理し、出願書類や選抜試験に備えましょう。また、私立大学や専修学校等の志望者は、「入れるところ」ではなく、「本当に入りたいところ」を妥協せず探すべきです。国公立大とは異なり、学費や諸費用は学校、学部によって様々です。授業内容や卒業後の就職先などを詳しく調べ、保護者と相談して、よく検討しましょう。

就職志望者は例年並みです。公務員志望者が19名、民間就職志望者が12名です。公務員は出願が6月から、民間就職は求人票の公開が7月から、それぞれ始まります。スケジュールを確認し、試験に向かって最終の追い込みをしていきましょう。

2年生は昨年末の調査と比べて公立大学の志望者が減り、私立大学の志望者が増えました。

進学志望者は、国公立大では弘前大学20名、青森公立大学9名、青森県立保健大学24名と、地元の学校を志望する人が多いです。私立大学も、3年生同様青森中央学院大学や青森大学などの県内の志望が多い中、県外の私立大を志望する動きも増えています。

志望校について、学べる内容やとれる資格などをしっかりと調べ、具体的な受験方法や受験科目、配点等を確認し、進路研究をしましょう。また、受験費用や学費などの経済的な問題について保護者と必ず相談し、公的な奨学金制度、大学独自の給付金制度に関しても調べておきましょう。

現在、2年生の就職志望者のうち13名が民間企業、35名が公務員を志望しています。公務員は例年よりも多い人数になります。

公務員志望者は公務員学内講座が2年生の秋から始まり、進学志望者より一足早く実践的な試験勉強に入ります。

民間就職志望者は3階の小ホールにある求人票を見て、どのような企業や職種があるのかをぜひ調べてみてください。企業の担当者からお話を伺うと、今や「転職」が当たり前の世の中になりつつあります。資格や自分が身に付けた多くのスキル（技術や知識）がものをいう時代です。また、就職してもその業界で新しい技術や傾向を「勉強」しないと生き残れません。「勉強」は一生ついてまわります。「勉強」したくないから「就職」は通用しません。進学、就職いずれの志望にしても、部活動との両立、意識を高くもった生活リズムを心掛け、授業を大切にしながら「学ぶ」姿勢を身に付けることが大切です。

<3学年>【進学】仮登録の説明会を行いました。～総合型・学校推薦型選抜へ向けて～

5月12日（火）に進学する生徒へ向けて「仮登録説明会」を行いました。

総合型選抜・学校推薦型選抜という「年内入試」と呼ばれる選抜方法が、私立大学では定員の6割を超えるなど、増加傾向にあります。その年内入試の基本的な選抜方法は「書類審査」「面接」「小論文」になります。中でも、「書類（志望理由書）」が最も重要であり、作成に多くの労力と時間がかかります。

本校でも年内入試の希望者は例年多いです。そこで国公立大の総合型・学校推薦型選抜受験希望者は、個別指導希望の仮登録を6月に行います。国公立大学は特に難易度が高く準備にも時間がかかるため、本校では早めに全職員での指導を開始し、それぞれの先生方が数名の生徒を受け持って、時間をかけて準備をしています。

7月からは担当が決まり、順次志望理由書の作成と面接、小論文やプレゼンテーション等の個別指導が始まる予定です。出願までの時間を利用して本を読み、関連する事柄について詳しく調べ、必要なら体験活動や課外講座に参加するなど、受験に向けてやるべきことが多くあります。「早めの準備」、「主体的な行動」、「勉強（学力維持）」を念頭において、進路志望達成に向けて、取り組んでいきましょう。



氏名	学年	性別	連絡先
山田 太郎	3	男	090-1234-5678
田中 花子	3	女	090-8765-4321
佐藤 健一	3	男	090-2109-8765
鈴木 美咲	3	女	090-5432-1098
高橋 誠二	3	男	090-9876-5432
渡辺 真由	3	女	090-3210-9876
小林 大輔	3	男	090-6543-2109
伊藤 千尋	3	女	090-0987-6543
清水 拓也	3	男	090-4321-0987
山本 莉奈	3	女	090-7654-3210

4月24日(金) 保護者進路研修会(奨学金)を実施しました

講師：株式会社まなびシード 奨学金アドバイザー 久慈 拓也 氏

毎年行っている奨学金の研修会を今年度も実施しました。平日の放課後ということもあり、参加者は保護者105名、生徒49名の計154名と、昨年度よりも多くなりました。

参加予定の保護者に事前のアンケートを実施し、講演の最後に、講師の久慈さんに答えていただきました。保護者と生徒の事後のアンケートでも「とても参考になった」「おおむね参考になった」「全て確認できた」という回答が多かったです。とくに今年度は参加した生徒からのアンケート記述が素晴らしく、生徒本人が真剣に奨学金情報を知りたいという姿勢が伝わりました。



【保護者アンケートより】

10年前に奨学金を利用しましたが、変化に驚きました。／わかりやすい説明でした。／また来年もやってほしいです。

【生徒アンケートより】

奨学金を借りるのは自分で、返していくのも自分だから、詳しい仕組みや条件を知れて、参考にしたいと思いました。／奨学金は入学納入金には使えない、一人暮らしは実家暮らしと比べると約2倍費用がかかることが分かった。／多子世帯に該当するので、その中でも違いを確認し、区分の違いをもっと調べることが大事だと思いました。／普段調べないような部分まで確認できてよかった。／給付型と貸与型があることが分かった。／ネットで申請しなければならないとわかりました。／奨学金とはどういうものか、使うときのメリットとデメリットを初めて知り、大学等進学するにはたくさんのお金がかかることが分かりました。親としっかり話し合いたいと思いました。

<次回予告> 6月20日(土)
保護者進路研修会(進学)
～後悔しない進路選択のために～
申込受付中(〆切 6/16(火))
ふるってご参加ください!

教育実習生に聞きました!

- ① 大学・学部・学科
- ② 高校時代の部活動
- ③ 高校時代の思い出
- ④ おすすめの勉強法
- ⑤ やるき持続法
- ⑥ 後輩に向けて一言!



5月18日(月)から本校に6名の教育実習生が来ています。北高の先輩方である実習生の皆さんにアンケートに答えていただきました。

K・G 先生(社会・公民) 普通科卒業

- ① 青森中央学院大学 経営法学部 経営法学科
- ② バスケットボール部
- ③ 朝、電車で朝テストの勉強をし、授業をまじめに受け、部活動を行い、帰宅後課題に取り組む、今思うとかなりハードスケジュールをこなし、かなり優秀な学生だったと感じる。学校、部活動共に一度も休まなかったのが心に残っている。
- ④ ・授業でポイントを捉え、それを基にひたすら問題を解くこと。そして課題を手を抜かないこと。
・考査は、出題範囲をしっかり復習すると一桁順位はあっさりとることができます。模試と違い、優秀かどうかではなく、やるかやらないかなので能力よりも気持ちです。
- ⑤ 頑張れば頑張った分、たくさんの信頼を得ることができます。信頼を得るといことは、生きる上でとても大切なことの一つです。また、やる気を持続させるためには、謙虚になることです。私は、自分は周りより劣っているから、頑張らなければ、という気持ち一本で、全てのことをやり遂げました。
- ⑥ 今の子ども達は、何事にも頑張るといいう気持ちが弱いです。どんなことにも一生懸命取り組む姿勢は、とても大切なことです。そして、自分に厳しく生きてください。昔のように厳しく指導することができない今だからこそ、自分を成長させることができるのは自分しかいないと思います。

T・Y 先生(社会・公民) 普通科卒業

- ① 青森中央学院大学 経営法学部 経営法学科
- ② 柔道部
- ③ 部活で自分の階級に出るために、約1週間で10キロ落としたこと→毎晩、冷蔵庫の前で泣いていました・・・
総体前の期間中、朝早く学校に来て一人で朝練をしたこと→友人からは陸上部より走っていると噂されていました・・・
これらを並行して英検の勉強をしたこと
- ④ テスト勉強：まずは授業をしっかり聞いて、課題をしっかりこなすことで、ある程度の点数はとれるかと思えます。
英検：とにかく何冊も過去問をやること
間違えたところを分析してくりかえすことで、徐々に点数がとれるようになると思います。
- ⑤ 常に目の前にライバルをおくこと!
ライバルが寝ている間にやれることを探すのが大事です。そのライバルを追い越したら、次のライバルを探すという風に、自分を競争の場に立たせることで、新しい自分と出会うことができます!
- ⑥ 私たちの世代は遠足、運動会、競技大会、文化祭、修学旅行、部活など全てがコロナウイルスによって今まで通りにはできませんでした。今は何でも通常通りに行われており、自分たちは恵まれた環境にいるのだということに自覚して、たくさんのことに夢中になって下さい。それが部活であろうと、勉強であろうと、夢中になって頑張ったことには必ず意味があります。たとえ結果が悪くても同じです。部活と勉強に純粋に打ち込めるのは高校3年間だけなので、「だるいから休む」「後でやるからいいや」という気持ちは捨てて下さい。貴重な青春の3年間を無駄にせず、駆け抜けて下さい。みんなのことをOGとして応援しています!

S・K 先生(保健体育)

スポーツ科学科卒業

- ① 青森大学 総合経営学部 経営学科
- ② 硬式野球部
- ③ 「野球」です。朝から夜まで練習して監督やコーチにたくさん怒られて、仲間と切磋琢磨しながら一つの目標を叶えるために頑張ったことはいい思い出です。
- ④ 反復練習、声に出す!
- ⑤ オンとオフの切り替え。やる時はやる! 休む時は休む!
- ⑥ 大学は良くも悪くも自由です。しっかりした目標をもち将来役に立つ資格などを調べて勉強すると充実した大学生活になると思います。

F・H 先生

(保健体育)

スポーツ科学科卒業

- ① 朝日大学 保健医療学部 健康スポーツ学科
- ② ラグビー部
- ③ アイスホッケー実習
- ④ 勉強ができなかったのので、ラグビーで進路を決めました
- ⑤ 音楽を聴く
- ⑥ 進路についてよく調べてください。良いところも悪いところも

N・H 先生(保健体育)

スポーツ科学科卒業

- ① 国士舘大学 体育学部 武道学科
- ② 柔道部
- ③ Fが学校でカードゲーム(デュエマ)していたこと
- ④ それスポ科に聞いていいんですか? 強いてあげるなら「短期集中」
- ⑤ 目標をもつ
- ⑥ 今を楽しんでください!

O・M 先生(保健体育)

普通科卒業

- ① 朝日大学 保健医療学部 健康スポーツ学科
- ② ラグビー部
- ③ 部活がつらかった
- ④ 毎日コツコツ
- ⑤ 仲間同士で競い合う
- ⑥ 何事も全力で頑張ってください! 後悔のないように!